

平成 28 年 2 月 9 日に文教福祉委員会を開催し、所管する事務事業の調査を次のとおり行いました。

## ● 全国屈指の福祉先駆都市実現に向けた取組について ●

### ～内容～

全国屈指の福祉先駆都市を実現するために、今後、取り組んでいくメニューについて調査するもの。

### ～質疑～

問：救急車での市外搬送 75%、そのうち 50%が軽症者という実態は、市民への啓発活動等が不足しているのではないか。

答：医療のかかり方、救急車の呼び方について啓発活動が足りないことは承知している。どうやったら市民に伝わるかということを含めて、医療費の適正化に向けて啓発活動、広報活動を行っていく。

問：救急医療体制の維持で、初期投資について助成をするということだが、ランニングコストへの助成は絶対にないか。

答：市の方針としてランニングコストについては助成しない。

問：福祉住宅リフォーム助成の優先順位等は決まっているのか。

答：申請順に助成していこうと考えている。

問：自宅で一生懸命介護をされている方への支援策を拡充する考えはないか。

答：既存事業についても、検討していきたい。

## ● 地域子育て支援センターの廃止について ●

### ～内容～

中央保育所で開設している子育て支援センターを、平成 28 年度から廃止することについて調査するもの。

### ～質疑～

問：11 月定例会において、中央保育所の指定管理者を指定する議案提出時に、廃止する旨の説明はあったか。

答：説明をしていない。

**問：廃止する理由は何か。**

答：他の子育て支援センターを利用せず、中央保育所の子育て支援センターだけを利用している人は少なく、午前中だけの利用であること、つどいの広場等の利用も十分可能であること及び財政的な観点も含めて廃止を決めた。

**問：利用者のいる午前中だけでも継続することを検討しなかったのか。**

答：国の補助制度では1日5時間以上の開所が必要であり、午前中だけの開所では、補助制度が適用されないことから廃止という結論に至った。

**問：国から補助をもらっていても、市で年間約250万円負担している。午前中だけ単市事業として実施することを今後、検討する予定はないか。**

答：これからどうやっていくか、情報をオープンにして議会を含めて議論することが大事だと思っている。前を向いてやっていきたい。